

関係者各位

2019年11月14日

性に関する被害者も加害者も増やさないために――

包括的性教育の必要性に迫る院内勉強会を開催



写真左から登壇者である山下雅敏氏、遠見才希子氏、ピルコン染矢

緊急避妊薬のオンライン診療に関する検討会でも話題になった性教育の必要性。国際的にはジェンダー平等と性の多様性を前提に、性に関する幅広い内容を体系的に学ぶ「包括的性教育」が重要であることが広まっています。NPO 法人ピルコン（東京都）は、子ども虐待や性暴力予防の観点からも注目が集まる日本の性教育の現状と課題について専門家、当事者と共に考える院内勉強会を衆議院第一議員会館にて 11月12日に開催しました。

当日は自由民主党より木村やよい議員、宮路拓馬議員、立憲民主党より大河原雅子議員、川田龍平議員といった国会議員の皆様や厚生労働省、文部科学省、法務省、内閣府の各省庁担当者の他、130名を超える参加者にご参加いただきました。

まず、ピルコン染矢から今までの取り組みの経緯と、日本の子ども・若者たちの接する性情報と教育機関での性教育の知識のギャップの課題を説明。ユネスコらによる「[国際セクシュアリティ教育ガイダンス](#)」や現在ピルコンが翻訳を進めている amaze の動画の紹介を交えながら、国際スタンダードとして広がる包括的性教育についての解説し、医療・教育・市民が連携して性教育に取り組み、それを政府・行政がサポートする必要性を強調しました。

▼amaze（性教育動画）

<https://pilcon.org/activities/amaze>

続いて、産婦人科医であり、大学院で研究をしながら性教育講演を実施している遠見才希子先生より教育・医療の現場から見た子ども達の現状と課題として、「セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (SRHR)」や「性の健康」の視点の大切さをお話いただきました。そして山下敏雅弁護士より、「高校生が中学生を妊娠させてしまった」「AV を見て胸を触ることを性加害だと認識していなかった」「同性愛や将来の夢を家族から否定された」等、地域での子どもの支援の現場におけるケースから加害・被害を防ぐ上での性教育の必要性が指摘されました。質疑応答では、大人達が性教育を学ぶためにはどうしていったらいいのか、という質問も多く寄せられ、子どもだけではなく、大人達に対しても学ぶ機会を作っていく大切さが各演者からも共有されました。

省庁関係者からの報告として、厚生労働省担当者より、緊急避妊薬 (アフターピル) のオンライン診療の認可に至った経緯や来年 3 月までに医療従事者向けの研修の実施にむけて準備が進められていることが報告されました。なお、緊急避妊薬の OTC 化に向けては、随時 OTC 化の要望は市民からも受け付けているが、2017 年における否決理由からどれほど状況が進展したかも議論を進めていく上での判断材料となることもあわせて報告されました。文部科学省担当者からは学習指導要領では、各国の文化や価値観を考慮した上で、今後の改訂を検討していく方向性が示されました。

リレートークでは公益財団法人ジョイセフ小野美智代氏から包括的性教育について途上国支援だけではなく、国内においても活動を展開している (ILADY.キャンペーン) ことや、UNFPA 東京事務所上野ふよう氏からまさにこの当日から始まったナイロビ・サミットでの市民との連帯に基づく議論の進展の期待が語られました。助産師で妊娠相談支援を行っている特定非営利活動法人ピッコラーレ副代表理事の土屋麻由美氏、ピルコンフェローとして活動する大学生の桑高佳穂さんの他、各国の性教育の研究を行う女子栄養大学名誉教授橋本紀子氏、薬剤師教育に携わる武蔵野大学薬学部教授永井尚美氏、病児保育など子育ての支援事業を展開する認定 NPO 法人フローレンス駒崎弘樹氏、ナイロビ・サミットに参加する #なんでもないの プロジェクト福田和子氏からも応援のメッセージをいただきました。



当日の様子を弁護士ドットコムニュースでも取り上げていただきました。

▼「中学生を妊娠させてしまった」男子高校生のケースから考える「性教育」の必要性

https://www.bengo4.com/c_23/n_10371/

ピルコンでは、今後も引き続き、包括的性教育を広めていくため、米国で製作される amaze.org の性教育動画の翻訳・吹き替えなどの教材制作・発信にも取り組んでまいります。

【緊急避妊薬の安全で迅速なアクセスの確保 ～オンライン診療の課題とこれからの考える～開催概要】

- 日時：2019年11月12日（火）15時～17時30分
- 会場：衆議院第一議員会館 大会議室
- 対象者：問題に関心のある一般の方、国会議員の方、医療・教育に携わる方、政策等に関わる方、メディアの方
《主催》NPO 法人ピルコン 《助成》日本財団 《後援》公益財団法人ジョイセフ 《協力》#なんでないの プロジェクト
- イベントページ：<https://pilcon.org/info/20191112innai>

アフターピルを必要とするすべての女性に届けたい！/包括性教育を中学生に！署名キャンペーン中！

ピルコンでは、若者・当事者の立場から、2つのオンライン署名キャンペーンを行っています。2019年10月現在、アフターピルは3万7千名、包括的性教育は2万名を越える賛同者がそれぞれ集まっています。

- ▼1: アフターピルを必要とするすべての女性に <https://www.change.org/afterpill>
- ▼2: 中学生に包括的な性教育を <https://www.change.org/adachi-karada>

【法人概要】

- 名称 NPO 法人ピルコン
- 設立 2013年10月
- 代表 染矢明日香
- 事業内容
 - ・正しい性の知識に関する普及啓発事業
 - ・女性のライフプランニングとキャリア実現に関する支援事業
 - ・性教育教材や性の健康を増進する用品の企画、製造、および販売
 - ・その他目的を達成するために必要な事業
- 活動領域 東京・関東圏を中心とする日本全国
- HP: <http://pilcon.org/>

【取材お問い合わせ先】

NPO 法人ピルコン 担当：染矢明日香 TEL：090-5179-3449

E-mail : pilcon.info@gmail.com